Wi-Fi6E の普及

原題：*Getting ready for Wi-Fi 6E*

●著者・所属：Daniel Montagnese；Huber+Suhner、製品管理部長、スイス
●誌名：Railway Gazette International　Vol.177　No.6（2021-6）　pp.34
●言語：英語

インターネットは今や私たちの生活に深く織り込まれており、これまで以上に人々は鉄道で旅行する間も接続を維持したいと望んでいる。鉄道会社にとって、良好な Wi-Fi 接続を提供することは重要な関心事である。シームレスな Wi-Fi を保証するために、鉄道会社は高性能のワイヤレスインフラストラクチャを必要としている。そして、その重要な部分は、乗客の情報端末を列車の車載ネットワークに接続する車両のアンテナである。増大する需要に対応するために、アメリカやヨーロッパでは Wi-Fi 使用のためにライセンスが必要ない 6GHz 帯域の周波数が割り当てられ、デバイスの干渉リスクが軽減される可能性がある。6GHz 帯域用に設計された民生用デバイスは、2020 年末に展開され、今後数年間で普及が見込まれる。最新の 6E 互換アンテナは、既存の取り付け治具に合うように設計されており、天井パネルに収まり、世界中のあらゆるタイプの列車に搭載することができる。

近年、多くの鉄道会社にとって、良好な Wi-Fi 接続を提供することが重要な関心事になっている

出典　Railway Gazette International

ERSAT は水平展開する段階に移行

原題：*ERSAT moves into the roll-out phase*

●著者・所属：Fabio Senesi；Rete Ferroviaria Italiana 社、ナショナル ERTMS プログラム部門長、イタリア
●誌名：Railway Gazette International　Vol.177　No.6（2021-6）　pp.46-48
●言語：英語

来年には、ヨーロッパの列車制御システムの補助として衛星ベースの列車測位システムを使用して、イタリア北部のノバラ～ローマ線で商業運転が開始される予定である。インフラストラクチャマネージャーの RFI（Rete Ferroviaria Italiana）は、この混雑したルートに「移動閉そく」を提供するために必要な機器の設置を開始した。このルートは、さまざまな列車運行会社によって使用されている。衛星技術を鉄道アプリケーション、より具体的には欧州の鉄道交通管理システムに統合することを目的とした欧州の ERTMS プログラムにとって重要なマイルストーンとなる。過去 10 年間、RFI は、特に地方および地域の路線の近代化において、ERTMS の経済性と持続可能性を改善する可能性を検討してきた。

ここでは、イタリアにおける ERSAT の ERTMS への応用状況について紹介する。

サルデーニャでの ERSAT-GGC 試験中に接続状態と位置精度を監視するために、トレニタリアのディーゼル鉄道車両に搭載された車載装置

出典　Railway Gazette International

ERTMS で衛星位置情報を利用するための地上装置

出典　Railway Gazette International